

能登半島地震に関する兵庫県の支援の状況

※下線部は前回からの変更箇所

1 被災地支援に向けた体制整備

関西広域連合において、被災後速やかに**災害対策支援本部**、**現地支援本部**を設置し、支援方策を検討
また、本県のカウンターパート（対口支援）先である石川県珠洲市を支援するため、**現地連絡所**を設置
加えて、県・市町がオール兵庫として一体的に支援するため、**兵庫県支援本部**を設置

● [関西広域連合]

- ・ 災害対策支援本部を設置（R6.1.2） ⇒ 支援本部会議を開催（R6.1.4）
- ・ リエゾン派遣（R6.1.2）に引続き、現地支援本部（石川県庁内）を設置（R6.1.4）
 - └ 珠洲市現地連絡所（珠洲市役所内）の設置（R6.1.6）

※関西広域連合広域防災局・兵庫県

● [兵庫県]

令和6年能登半島地震 兵庫県支援本部の設置・開催（R6.1.5）

2 支援方針

阪神・淡路大震災で培った経験を活かし、以下の3つの柱を基本として**オール兵庫で支援**

- I 先遣隊派遣による被災状況の把握
- II 現地のニーズに沿った人的・物的支援
- III 「オールひょうご」での官民連携した総合的な支援

I 先遣隊派遣による被災状況の把握

1 被害の状況 【石川県災害対策本部員会議（1/17 [水] 16時）資料より】

(1) 人的被害 (人的被害・建物被害は、1/18 [木] 9時時点 石川県被害報告より)

	死者	行方不明者	負傷者		合計
			重傷	軽傷	
石川県	<u>232</u>	確認中	<u>1,048</u>		<u>1,280</u>
うち珠洲市	<u>99</u>	<u>0</u>	<u>145</u>		<u>244</u>

※安否不明者は22人（うち珠洲市は5人）

※災害関連死は14人（うち珠洲市は6人）

(2) 建物被害

	住家（棟）					非住家（棟）		
	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水	小計	公共建物	その他
石川県	<u>27,952</u>			6	5	<u>27,963</u>	<u>190</u>	<u>410</u>
うち珠洲市	多数					多数		

(3) ライフライン 停電 約7,800戸（うち珠洲市は約2,400戸）

断水 約50,900戸（うち珠洲市は約4,800戸）

(4) 避難所状況 370カ所（15,283人）（うち珠洲市は46カ所（2,567人））

※1.5次避難所 2カ所（260人）

2次避難所 56カ所（1,528人）

II 現地のニーズに沿った人的・物的支援

1 支援の状況（主なもの）

① 人的支援

- 1/2 先遣隊（関西広域連合）を派遣（石川県庁）
- 1/5 現地連絡所先遣隊、保健師、EARTH先遣隊を派遣
- 1/6 **現地連絡所開設**（珠洲市役所）
- 1/7 避難所運営支援先遣隊を派遣
- 1/8 避難所運営支援職員（第1陣、神戸市と合同）を派遣（1/9～**現地活動開始**）、DPATを派遣
- 1/10 兵庫県DMAT（災害派遣医療チーム）、応急危険度判定士、EARTH第2次先遣隊を派遣
- 1/11 避難所運営支援職員（第2陣、新たに3市町の参加開始）、し尿処理支援職員を派遣
- 1/15 EARTH第1次、応急危険度判定士第2陣を派遣
- 1/17 がれき処理支援対策担当職員を派遣



珠洲市避難所運営支援職員派遣
【1/8兵庫県・神戸市合同出発式】



緊急支援物資（毛布等）
【1/2,1/3,1/11に広域防災センターから発送】



現地連絡所の様子

② 物的支援

- 1/2～3 緊急支援物資（保存用飲料水・アルファ化米、毛布・携帯トイレ等）を搬出
- 1/11 追加の緊急支援物資（リゾットご飯、長期保存パン等の食料品、非接触体温計等）を搬出

③ 救急・救助活動

- 1/3 緊急消防援助隊（航空小隊）を派遣
- 1/15 緊急消防援助隊兵庫県大隊を派遣

④ 機材等の支援

- 1/3～ 給水支援（神戸市等）、トイレカー設置（南あわじ市）等による各種支援を実施

2 職員の派遣

1/18時点
職員派遣数

340人(県51人、市町等282人(27団体)、その他7人)

延べ人数 **497人**
(県135人、市町等343人(29団体)、その他19人)

区分	県		市町等		その他		合計	
関西広域連合リエゾン派遣	0	(4)	0	(4)			0	(8)
珠洲市現地支援本部リエゾン派遣	4	(8)	2	(6)			6	(14)
珠洲市避難所運営支援	12	(28)	28	(40)			40	(68)
緊急消防援助隊	0	(16)	182	(182)			182	(198)
震災・学校支援チーム(EARTH)	14	(24)					14	(24)
保健師チーム	3	(9)	8	(8)			11	(17)
災害派遣医療チーム(DMAT)	5	(21)	0	(14)			5	(35)
災害派遣精神医療チーム(DPAT)	0	(3)					0	(3)
日本医師会災害医療チーム(JMAT)	1	(5)	0	(1)			1	(6)
災害支援ナース	2	(3)	1	(1)			3	(4)
被災建築物応急危険度判定	4	(6)	8	(10)			12	(16)
人と防災未来センター現地調査					4	(16)	4	(16)
給水車・トイレカー支援			15	(24)			15	(24)
土木施設の応急復旧			21	(33)			21	(33)
廃棄物・し尿処理支援	6	(7)	15	(15)			21	(22)
栄養・食生活支援	0	(1)					0	(1)
その他			2	(5)	3	(3)	5	(8)
合計	51	(135)	282	(343)	7	(19)	340	(497)

※市町等には一部事務組合を含む ※ () は延べ人数

【被災地での活動状況】



【県・市避難所支援チーム出発前ミーティング 1/10】



【珠洲市内での避難所支援職員の活動 1/14】



【現地でのEARTHミーティング 1/15】



【被災建築物の応急危険度判定の様子 1/17】

3 物資の支援

1/18時点
食料・飲料水支援数

約48,000食・約9,500ℓ

品目等	搬出日	数量	搬出元	搬出先
保存用飲料水 0.5 ℓ		16,800本	広域水道事務所多田浄水場	
アルファ化米等	1/2 (火)	11,300食	県広域防災センター	志賀町役場
ブルーシート		1,600枚		
毛布	1/3 (水)	4,595枚		
携帯トイレ等		65,200枚ほか		
生理用品	1/8 (月)	7,000枚		内灘町役場
毛布	1/4 (木)	300枚	神戸市 (ノビ アスタジ ム神戸)	七尾市役所
粉ミルク等		672本ほか		
アルファ化米等	1/5 (金)	480食	宝塚市	珠洲市
飲料水 0.5 ℓ		480本		
生理用品等	1/7 (日)	2,000枚ほか	南あわじ市 ※後述のトイレカーと併せて搬出	宝達志水町役場
アルファ化米等	1/11 (木)	36,258食	県広域防災センター	富山県氷見市
非接触体温計		100個		
携帯用トイレ等	1/11 (木)	400個ほか	尼崎市	珠洲市
飲料水 2 ℓ	1/11 (木)	420本	香美町	能登被災地支援本部 (金沢市)
屋外シャワーキット	1/16 (火)	1セット	洲本市	珠洲市
		1セット	淡路市	

4 救急・救助活動

機材	派遣期間（予定含む）	台数等	人数	派遣元	派遣先
緊急消防援助隊兵庫県大隊・救急車、重機等	1/15（月）～	52（隊）	182	県内全24消防本部	輪島市
消防防災ヘリ（1機） ・車両	1/3（水）～1/5（金） 1/11（木）～1/14（日）	2	8	兵庫県・神戸市	石川県内

5 機材等の支援

機材	派遣期間（予定含む）	台数	人数	派遣元	派遣先
給水車・指揮車	1/3（水）～1/6（土）	3	6	神戸市	穴水町
給水車	1/6（土）～1/11（木）	1	3	豊岡市	
給水車等	1/11（木）～1/18（木）	2	4	西宮市	
トイレカー	1/7（日）～	1	3	南あわじ市	珠洲市
給水車・車両	1/13（土）～1/19（金）	2	4	加古川市	穴水町



緊急消防援助隊兵庫県大隊
（県内全24消防本部）
【1/15に輪島市へ派遣】



給水車（西宮市）
【1/11に穴水町へ派遣】



自走式水洗トイレカー（南あわじ市）
【1/7に珠洲市へ派遣】

6 その他（県の支援状況等）

1 公営住宅の提供

県全体で331戸の公営住宅を提供

○ 県営住宅

- ・提供戸数 60戸（今後、状況に応じて順次追加）
- ・入居期間 原則6か月以内
（住宅再建に時間が必要な場合は、当面
最長2年まで延長可）
- ・問合せ・申込先 兵庫県まちづくり部公営住宅管理課（078-230-8459）

1/18現在の問合せ数：10件



○ 市町営住宅

県内33市町で合計271戸の市町営住宅を提供（1/17現在）

2 見舞金の贈呈

- ・見舞金額 1,000,000円
- ・相手方 石川県
- ・贈呈方法 石川県と今後調整の上、贈呈

Ⅲ 「オールひょうご」での官民連携した総合的な支援

● 令和6年能登半島地震への義援金の募集

兵庫県と兵庫県議会、地方4団体が中心となり、民間団体の協力を得て、「令和6年能登半島地震兵庫県義援金募集委員会」を設立し、**被災者支援のための義援金を募集**

- ・ 募集期間：令和6年1月4日（木）～4月30日（火）
- ・ 募集方法：口座振込、募金箱

口座：三井住友銀行 兵庫県庁出張所（普通：3294602）
名義：令和6年能登半島地震兵庫県義援金募集委員会

- ・ 義援金使途：令和6年能登半島地震の被災者支援に充当

1/18現在の義援金額：27,613,463円

※構成団体（計14団体・順不同）

兵庫県、兵庫県議会、兵庫県市長会、兵庫県市議会議長会、兵庫県町村会、兵庫県町議会議長会、日本赤十字兵庫県支部、兵庫県共同募金会、兵庫県社会福祉協議会、神戸新聞厚生事業団、兵庫県商工会議所連合会、兵庫県商工会連合会、株式会社ラジオ関西、株式会社サンテレビジョン

被災地への今後の支援

阪神・淡路大震災の経験や教訓、これまでの被災地支援の経験を活かし、被災地に寄り添った**兵庫県**ならではの息の長い支援を、市町と一体となって実施

1 現時点のニーズに応じた対応

- ・ 現地連絡所を通じた状況の把握
- ・ 他の支援団体との連絡調整
- ・ 救急・救助活動支援
- ・ 避難所運営支援等の継続
- ・ 学校再開支援
- ・ 災害廃棄物処理
- ・ 道路等被害状況の把握



- ・ 緊急消防援助隊の派遣（陸上部隊52隊・182名）※1/15～
- ・ 市町と連携し、ローテーションにより職員の派遣を継続（第2陣から新たに3市町が参加）
- ・ 震災・学校支援チーム（EARTH）の派遣を開始（14名）※1/15～（一部1/18～）
- ・ がれき処理対策担当職員を派遣（2名）※1/17～
- ・ 道路被害状況等調査職員を派遣（4名）※1/20～

2 今後、想定されるニーズに対する対応

- ・ 応急仮設住宅の建設
- ・ 被災者のこころのケア
- ・ ボランティア支援 等



- ・ 県社会福祉協議会・ひょうごボランティアプラザ 現地調査員（ボランティア支援等のニーズ把握）を派遣（3名）※1/13～15
- ・ 災害ボランティアへの支援の拡充
※その他支援要請に応じて対応

○更に、復旧・復興計画策定に係る知見の提供を検討

令和6年能登半島地震に係る 今後の災害ボランティア活動の支援について

本日（1/18）、兵庫県社会福祉協議会・ひょうごボランタリープラザ現地先遣隊から、被災地社協の現状やボランティアニーズ等に関する報告を受け、意見交換を実施

【兵庫県社会福祉協議会先遣隊の派遣概要】

（先遣隊）兵庫県社会福祉協議会・ひょうごボランタリープラザ 職員3名
（訪問先）石川県社協、珠洲市社協、穴水町社協、内灘町社協（1/13～1/15）

【兵庫県社会福祉協議会先遣隊からの報告】

- 被災地の社協職員が多く被災しており、ボランティア受入準備等が進んでいない
- 現時点では、被災地のインフラやライフラインが復旧していないこと、今後、降雪が本格化することなどに伴い、当面は、経験や豪雪への対応ができるなどのノウハウが必要
- 被災者に寄り添ったボランティア活動（炊き出し、心のケア等）のニーズはあるが、一般ボランティアは被災地の受入体制の整備が大前提

【兵庫県における今後の対応の方向性】

- ① 被災地の社会福祉協議会の体制確保に向けた支援
- ② 災害ボランティアの活動支援策の拡充

◆ 復旧期 の災害ボランティア活動支援事業 ◆

事業名	災害ボランティアバス	大規模災害ボランティア活動応援プロジェクト
事業概要	団体・グループ、個人に <u>ひょうごボランティアプラザがバスを借上げ</u>	団体・グループに <u>現地までの交通費・宿泊費の一部を助成</u> ※ふるさとひょうご寄附金で運用
対象者	団体・グループ、個人	県内に拠点を置く5人以上で構成する団体・グループ
対象活動	被災者宅のがれき撤去、泥かき、避難所支援等 <u>復旧期の被災者支援活動</u>	
対象経費	—	交通費及び宿泊費
助成額	—	1団体・グループにつき 上限20万円
実施主体	兵庫県社会福祉協議会（ひょうごボランティアプラザ）	